

V 子どもの学びを支える教育環境を整える

(11) 学校施設等の整備・充実

28 学校施設・設備等の整備

校舎の耐震補強や改築、情報教育機器の整備等を計画的に推進し、子どもたちが安心して学び、充実した活動ができるよう教育環境の整備を図ります。

達成指標	学校施設の耐震化の割合(耐震化率)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		73%	74%	83%	26年度に100%	A
達成指標	普通教室2台、特別教室6台の配備に向けたLAN用コンピュータの整備状況	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		50%	48%	48%	100%	B-

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】

対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(98)校舎・屋内運動場等の耐震補強【学校施設課】					
児童生徒	子どもが、日常生活の大半を過ごす学校の校舎・屋内運動場を耐震化することにより、児童生徒の安全確保を図る。	1,790,550 前年度明許繰越予算含む	4,788,183 前年度明許繰越予算含む	[23年度の評価] 小学校(校舎7校、屋内運動場7校)、中学校(校舎2校、屋内運動場5校)の耐震補強を実施した。 [24年度の実施計画] 小学校(校舎9校、屋内運動場27校)、(中学校校舎6校、屋内運動場8校)、高等学校(校舎1校)の耐震補強を実施する。	b
(99)校舎の改築【学校施設課】					
児童生徒	耐震性能が劣ることに併せて、地耐力不足、コンクリート強度不足のため耐震補強が困難な校舎を計画的に改築することにより、児童生徒の安全確保及び教育環境の整備を図る。	3,140,856	606,931	[23年度の評価] 松ヶ丘中の建築工事、各設備工事、外構工事等の実施、花園中の家屋事後調査等の実施、緑町小の建築工事、各設備工事、外構工事等を実施を行った。 [24年度の実施計画] 松ヶ丘中の外構、植栽、プール解体工事等の実施、9月に校舎、武道場供用開始を行うほか、緑町小の校舎、屋内運動場を4月に供用開始、外構、植栽工事及び旧校舎の解体工事を行う予定である。	b
(100)校舎の改修整備【学校施設課】					
児童生徒	老朽化した校舎の内部・外部の改修や修繕を実施することにより、教育環境の整備を図る。	31,600	0	[23年度の評価] 生浜小の外部改修工事を実施した。	b
(100-2)川戸中学校武道場建設【学校施設課】					
川戸中学校生徒	武道場が未設置である川戸中学校に武道場を設置することにより、武道の授業の安全な実施及び授業効率の向上を図る。	30,000	0	[23年度の評価] 川戸中の武道場新築工事を実施し、24年2月に供用開始した。《事業完了》	b

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(101)特別支援学級等の教室改修及び備品整備【養護教育センター/学校施設課】 <計画(153)に再掲>					
特別支援学級の児童生徒	新設の特別支援学級や通級指導教室等の児童生徒の多様なニーズに対応した教育を充実するため、指導用備品の整備を図る。	11,250	2,250	<p>[23年度の評価] 土気小の一部を教室改修し、ライトポート緑(10月供用開始)の整備を行った。また、新設特別支援学級設置校8校に対して、備品の整備を実施した。</p> <p>[24年度の実施計画] 新設特別支援学級設置校10校と通級指導教室新設2校に対して、備品の整備を実施する予定である。</p>	b
(102)学校給食センターの整備【保健体育課】					
児童生徒	老朽化した学校給食センターを再編整備することにより、より豊かで安全な学校給食の提供を図る。	0	0	<p>[23年度の評価] 学校給食センター再編整備計画の内容を検証し、再整備内容の検討を行った。</p> <p>[24年度の実施計画] 「こてはし学校給食センター」の整備方針や手法等の検討を進める予定。</p>	b
(103)校内LANの整備【教育センター】					
児童生徒	校内LANの整備を進めることにより、すべての学校の普通教室・特別教室における情報機器を活用した学習ができる環境の整備を図る。	8,000	13,200	<p>[23年度の評価] 大規模改修等の工事を行った学校を除き、校内LANが本格運用された。</p> <p>[24年度の実施計画] 稲毛高等学校附属中学校及び更科小学校富田分校の整備とともに、新設の仮設校舎や改修工事校へのLAN整備を行う。</p>	b
(104)学習情報センターの整備・充実【教育センター】					
児童生徒	すべての学校に多様な学習形態に対応した「学習情報センター」を整備します。	0		アクションプランから削除	
(105)情報教育センターの整備【教育センター】					
児童生徒	「情報教育センター」を整備することにより、学校における情報教育の推進、教育の情報化、学校の情報化を統括的に進める環境整備を図る。	0		アクションプランから削除	

29 学校の安全対策の充実
 子どもたちが安全に教育活動を行える環境整備を進めるとともに、防犯教育や避難訓練の実施など、安全対策の強化を図ります。

達成指標	不審者侵入に対する防犯訓練を実施する学校	計画開始(20年度)	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		全市立学校で実施	全市立学校で実施	継続	継続	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(106)防犯設備の整備【学事課】					
児童生徒	各学校に配備した“さす股”やネットランチャーなどの防犯用具の補充を行うとともに、防犯カメラの設置については、その効果を十分に検証し、今後も拡充を図ることにより、学校における不審者対策の充実を図る。	9,018	8,548	[23年度の評価] 新たに小学校4校、中学校2校に防犯カメラシステムを設置し、侵入による被害発生に対する抑止力を高めるとともに設置効果を検証した。 [24年度の実施計画] 防犯カメラシステムを、新たに小学校3校に設置をする予定である。 なお、防犯カメラシステムの設置については、今後も設置校を増やしていく予定である。	b
(107)防犯等安全対策の推進【学事課/指導課】					
児童生徒	①各学校で実施する防犯教育、②不審者侵入を想定した避難訓練をはじめ、③緊急時の保護者等への連絡体制の整備、④通学路の安全確保等により、子どもたちの安全確保を図る。	0	0	[23年度の評価] 各学校において「学校の不審者対応危機管理マニュアル」を活用し、各校の実態に応じた「学校安全計画」を作成し、児童生徒への防犯教育等を実施した。 [24年度の実施計画] 24年3月に作成した「学校総合防災マニュアル」の内容も加味し、各学校の状況に応じた安全対策を推進する。	a

30 教材教具等の充実

各学校に必要な教材が行き渡るよう、教材教具の計画的な整備を図ります。

達成指標	地上デジタル放送への対応割合 (上段:テレビ配置、下段:アンテナ工事)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		完了	事業完了	事業完了	100%	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(108)新学習指導要領に対応した教材教具の充実【指導課】						
児童生徒	自主的・自律的な学校運営に対応し、学習指導要領に対応した教材教具の整備を図ることにより、各学校における円滑な授業の実施を図る。	小学校 59,000 中学校 0	小学校 0 中学校 109,000	[23年度の評価] 市内全小学校に23年度版教科書に準拠した教材教具、及び教師用の指導書等の整備をした。 [24年度の実施計画] 中学校の教材教具及び教師用指導書等の整備をする予定である。	b	
(109)地上デジタル放送への対応【学校施設課】						
児童生徒	地上デジタル放送への完全移行に向けて、小・中学校のアンテナ工事を行うことにより、各学校における円滑な授業の実施を図る。	0	/	22年度に事業が終了したため、アクションプランとしては削除		/
(109-2)電子黒板の活用【指導課】						
児童生徒	各学校において、電子黒板を活用した効果的な授業の実施を図る。	0	0	[23年度の評価] 文部科学省の委託を受けた轟町小、緑町中の実践事例を、研修会や公開授業等を通して紹介し、ICTの活用促進を図った。 [24年度の実施計画] 電子黒板を活用した実践事例を紹介し、児童生徒の「情報活用能力」の育成、教科指導におけるICT活用指導力の向上を目指す。	b	

(12) 教育環境の改善と特色ある学校づくりの推進

31 学校適正配置の推進

学校規模の大小による教育環境の不均衡を是正するとともに、小規模校化や大規模校化によって生じる教育上・学校運営上の諸問題を解消することにより子どもたちの教育環境の公平性を保障し、よりよい教育環境の整備と教育の質の充実を図ります。

達成指標	学校適正規模校の割合 (上段:小学校、下段:中学校)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		56%	56%	59%	63%	
		50%	50%	52%	55%	

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】

対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		

(110)小規模校化への対応【企画課/学事課/学校施設課】

児童 生徒	各学校の立地形態の区分ごとに、統合等により適正配置を推進することにより、教育環境の充実を図る。	432,800 前年度明 許繰越予 算含む	1,403,510 債務負担行為 322,000	<p>[23年度の評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 4校の新設校(真砂中、高洲小、真砂東小、真砂西小)の開校とそれに伴う改修工事を実施。 ② 24年4月開校の高浜海浜小(高浜二小・三小の統合校)の開校準備。 ③ 地元代表協議会等 <ul style="list-style-type: none"> ・幸町地区…幸町一小、四小の「統合の要望書」の提出 ・磯辺地区…磯辺一小、二小、四小と磯辺一中、二中の「統合の要望書」の提出 ・千城台地区…小学校統合の必要性について合意 ・花見川地区…適正配置の必要性について協議 <p>[24年度の実施計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高浜海浜小の開校 ② 高洲小、真砂中の改修工事の継続実施 ③ 高浜海浜小、真砂東小の大規模改修工事の実施 ④ 磯辺四小(統合予定校)の内部改修工事の実施 ⑤ 地元代表協議会での協議の継続 (千城台地区、花見川地区、幸町地区) 	b
----------	---	--------------------------------	--------------------------------	---	---

(111)大規模校化への対応【企画課/学事課/学校施設課】

児童 生徒	隣接する学校との通学区域の調整等により、適正配置を推進することにより、教育環境の充実を図る。	2950 (おゆみ野南中 家屋事後調査 等)	0	<p>[23年度の評価]</p> <p>学区調整検討委員会の中で教室不足等が予想され調整が必要とされる地域について、検討を行い、教室不足への対応を行うとともに、学事課への申請により大規模校から隣接する適正規模校への学区外通学を承認した。</p> <p>[24年度の実施計画]</p> <p>引き続き、大規模校における課題について、的確に対応していく。</p>	b
----------	--	---------------------------------	---	---	---

32 地域特性を生かした特色ある学校づくりの推進

地域の状況に応じた総合的な学習や体験的な学習など、各学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動を推進します。

達成指標	特色ある学校づくりを展開する学校	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		全市立学校で実施	全市立学校で実施	継続	継続	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(112)特色ある教育活動の展開【指導課】					
児童生徒	学校や地域の良さを生かした特色ある学校づくりを推進することにより、各学校における多様な活動(例;地域の自然や文化に親しむ、異文化との交流を図る、学習発表会、教科や特別活動、学校行事を充実)の充実を図る。	0	0	[23年度の評価] 市立全小中学校において学校や地域の特色を生かした教育活動について、取り組んだ。 [24年度の実施計画] 継続して発展した実施を進めていく。	b
(113)学校評議員制度の充実【学事課】<計画(178)の再掲>					
学校 家庭 地域	学校評議員制度の更なる拡充により、学校・家庭・地域の連携を深めつつ「特色ある学校」、「開かれた学校」づくりの推進を図る。	0	0	[23年度の評価] 校長の推薦により約1,400人の学校評議員を委嘱した。校長は評議員に学校教育の充実に関すること等、幅広く意見を求め、学校運営の改善を図った。 [24年度の実施計画] 各学校の評議員会の活性化をはじめ、制度の充実に取り組んでいく。	b
(114)特色ある学校づくり予算の充実【学校財務課】					
児童生徒	学校の裁量で執行可能な予算を措置することにより、各学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動を支援する。	528,000	525,000	[23年度の評価] 小・中・特別支援学校176校へ学校の裁量で執行できる予算として1校平均300万円を配付し各学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動を支援した。 [24年度の実施計画] 引き続き、1校平均300万円を配付し、特色ある学校づくりの積極的な支援を行う。	b

(13) 学びの連続性を重視した教育の推進

33 学校間・学校種間連携の推進

教員の交流を生かした児童生徒の指導等、学校間の連携強化を推進します。また、幼稚園・保育所（園）と小学校間、小学校と中学校間など、校種間における教育課程の効果的な接続等についての調査・研究を行い、幼少時からの学びの連続性の充実に努めます。

達成指標	中高一貫教育校(稲毛高等学校・附属中学校)における高校2年時の実用英語技能検定(英検)2級の合格率(Ⅱ-(4)の再掲)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		100%	56%	100%	100%	B+
達成指標	高等学校が連携教育を行う大学数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		8校	7校	9校	10校	B+

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】

対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(115)幼保小連携教育の推進【指導課/保育運営課】<計画(123)に再掲>					
幼児児童生徒	推進校とする小学校と近隣の幼稚園・保育園が連携することにより、幼稚園・保育園(所)と小学校との円滑な接続を図る。	3	3	[23年度の評価] 小学校への円滑な接続を図るため、子どもたちの交流や保育士と教師の相互理解の醸成など、市内13か所の小学校と近隣の保育所(園)・幼稚園との連携事業を実施した。 [24年度の実施計画] これらの取組を継続して実施する予定である。	b
(116)小中連携教育の推進【企画課/指導課/教育センター】					
児童生徒	小・中学校の接続に配慮した教育の推進について研究することにより、小中連携教育の推進を図る。	0	0	[23年度の評価] 23年度は、更科小・中学校で「一小一中における連携のあり方」について研究を進めてきた。9年間を見通した教科指導等を目指し、研究組織づくりや地域の方々との関わりなど、小中の円滑な接続を図るための工夫が示された。 [24年度の実施計画] 小中の学習内容の継続性に配慮した「小中連携教育」を全市で実施するよう一層の推進を図る。	
(116)小中一貫教育校の設置【企画課/指導課/教育センター】					
児童生徒	小中一貫教育の調査・研究を行うことにより、小中一貫校の設置を図る。	0	0	[23年度の評価] 小中一貫教育の推進に当たっては、新たなハード整備を行わず、既存の小中学校の配置の中で推進していくこととし、学びの連続性を重視した小中9年間の一貫カリキュラムを実施する教育と再定義した。そして小中一貫教育校を「千葉市版小中一貫教育標準カリキュラムを実施する学校」とし、カリキュラムの開発に着手した。 [24年度の実施計画] 継続して「千葉市版小中一貫教育標準カリキュラム」の開発を行うとともに、千葉市型「小中一貫教育」の詳細(在り方や今後の進め方等)の検討を行う。	b
(117)中高一貫教育の推進【市立稲毛高校・稲毛附属中学校】					
市立稲毛高校・稲毛附属中学校	市立稲毛高校及び附属中学校における中高6年間の計画的・継続的な指導により、国際化に対応する教育を軸に置く中高一貫教育の推進を図る。	3,695	3,695	[23年度の評価] 平成19年度に入学した附属中1期生が高校2年生となり、オーストラリアで海外語学研修を行った。 [24年度の実施計画] 継続して海外語学研修を実施予定であり、国際化に対応した中高一貫教育を推進する。	b

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(118)高等学校と大学連携教育の実施【市立千葉高校】					
市立千葉 高校	千葉大学の開放講座の受講に係る単位認定や、大学の研究施設の訪問等により、生徒の科学に対する興味関心の向上を図る。	0	0	<p>[23年度の評価] これまでの大学等との連携講座に加え、生徒の興味・関心に合わせていくつかの新たな講座を新設した。</p> <p>[24年度の実施計画] これまで本校が研究開発してきた大学をはじめとする外部機関連携講座を吟味・精選のうえ再編成し、より高いレベルでの教育環境の実現を図る。 また、理数科を中心に千葉大学との理数教育パートナーシップの見直しを図り、これまでの大学連携講座の接続の在り方を再検討することにより、より高い次元での教育効果の向上を図る。</p>	a

34 市立高等学校教育の充実

単位制や理数教育、国際交流など、市立高等学校の特色を生かした教育活動の充実を図ります。

達成指標	単位制で選択科目が充実しており、授業や補習など教科指導が熱心に行われていると回答した生徒の割合(市立千葉高校)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		80%	80%	85%	85%	A
	少人数学習やネイティブの授業等、コミュニケーション能力を高め、英語力の向上を図る授業を受けたり、様々な国際交流の体験をすることができた生徒の割合(市立稲毛高校)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		83%	79%	83%	85%	B+

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(119)単位制の実施【市立千葉高校】					
市立千葉高校の生徒	多様な選択科目を設置することにより、生徒の進路希望や興味関心に応じた主体的な科目選択を図り、確かな学力の向上を図る。	0	0	[23年度の評価] 確かな学力の向上を図るべく、授業改善に努めた。 [24年度の実施計画] 校内研修を通して、生徒による授業評価を導入する予定である。	b
(120)理数教育の充実【市立千葉高校】<計画(14)に再掲>					
市立千葉高校の生徒	スーパー・サイエンス・ハイスクール事業やサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトの成果を生かすことにより、理数教育の充実を図る。	2,143	2,133	[23年度の評価] サイエンスパートナーシッププロジェクト(SPP)の事業縮小に伴い、これまで築き上げてきた外部連携講座の維持が難しくなり、実施に苦慮した。 [24年度の実施計画] そのため、24年度においては、講座の吟味・精選・再編成等に取り組むと共に、ハイレベルな理数教育環境の実現を目指したスーパーサイエンスハイスクール(SSH)での研究開発を進める。また基礎学力の定着と授業の質の向上を最優先課題と位置づけ、課題研究、フィールドワーク、外部機関連携等を効果的かつ機能的に活用しながら新たな体制を構築し、理数教育の一層の充実を図る。	b
(121)国際理解教育の推進【市立稲毛高校】					
市立稲毛高校の生徒	海外姉妹校とのホームステイを中心とした相互交流の充実を図ることにより、国際理解教育の推進を図る。	4,443	4,468	[23年度の評価] 東日本大震災の影響で、受入事業は中止となった。派遣事業は、ヒューストン市、ノースバンクーバー市への海外語学研修を行った。 [24年度の実施計画] 継続して、姉妹都市などと生徒・職員の交流事業を行う。	b
(122)市立高等学校改革の評価・検証【学事課/企画課】					
高校生	市立稲毛高等学校の中高一貫教育と千葉高等学校の単位制について、評価・検証を行うことにより、市立高校の改善・発展を図る。	0	0	[23年度の評価] 22年度に「千葉市立高等学校改革の評価・検証～中間まとめ～」をとりまとめた。計画どおり3年ごとの評価、検証を実施する。 [24年度の実施計画] 平成25年3月には、稲毛高校初の内進生が卒業することから、平成25年度に「最終まとめ」を行う予定である。	b

35 幼児教育の充実

生涯にわたる人間形成の基礎を培う幼児教育の充実を図ります。

達成指標	預かり保育を実施する幼稚園の割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		89.1%	90.2%	同水準を維持	93%	

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(123)幼保小連携教育の推進【指導課/保育運営課】<計画(115)の再掲>						
幼児 児童 生徒	推進校とする小学校と近隣の幼稚園・保育園が連携することにより、幼稚園・保育園(所)と小学校との円滑な接続を図る。	3	3	[23年度の評価] 小学校への円滑な接続を図るため、子どもたちの交流や保育士と教師の相互理解の醸成など、市内13か所の小学校と近隣の保育所(園)・幼稚園との連携事業を実施した。 [24年度の実施計画] 23年度の取組を継続して実施する予定である。	b	
(124)幼児教育支援体制の整備【指導課/こども企画課/保育運営課】						
幼児	各種事業を効果的に進めるための体制整備を図ることにより、幼児教育の充実を図る。	9,207	11,372	[23年度の評価] 教育委員会においては、県教育委員会が主催する幼稚園教諭を対象とした研修会において、幼児教育の充実を図るための指導・助言をした。 また、こども未来局において、①幼稚園協会等に幼児教育関係事業についての情報提供や意見聴取を行い、各種事業を実施するとともに関係課との調整を図るとともに、②保育士の資質の向上を図るため、千葉市保育アクションプログラムに基づき、職種別研修や階層別研修、専門研修を実施するとともに、保育士等及び保育所(園)の自己評価を試行実施した。 [24年度の実施計画] 教育委員会は、県教育委員会が主催する幼稚園教諭への研修会における指導・助言を継続して実施する。こども未来局では、①幼稚園協会等と連携し実施するとともに、②保育士の資質の向上を図るため、千葉市保育アクションプログラムに基づき、職種別研修や階層別研修、専門研修を実施し、保育士等及び保育所(園)の自己評価を実施する。③さらに、認可外保育施設の質の向上を図るため、巡回指導員を配置することを予定している。	b	
(125)幼児教育支援センターの運営【教育センター】						
保護者 教職員 保育士	幼児教育への支援として、保護者、幼稚園教諭・保育士、小学校教諭を対象とした臨床心理士等による相談や子育てに関する講演会の実施等を図る。	161	0	[23年度の評価] 幼児教育相談、幼児教育講演会を実施した。なお、23年度末をもって幼児教育支援センター事業を廃止した。 [24年度の実施計画] 幼児教育講演会を研修講座に位置づけ、公開講座として継続することを予定している。幼児教育相談についても、通常の相談業務の中で継続して実施していく予定である。	b	
(126)幼児教育を受ける機会の充実【こども企画課/保育支援課】						
幼児	就学前の教育と保育を一体的に提供する「認定こども園」の普及促進について検討することにより、幼児教育を受ける機会の充実を図る。	0	0	[23年度の評価] 幼保一体給付やこども園への制度改正等について、国の動向を注視しつつ、認定こども園に関する本市の統一的な窓口としての事務を行うほか、制度に関する周知広報や認定施設に関する情報提供を実施した。 [24年度の実施計画] これらの業務を引き続き実施しながら、国の検討状況をも勘案して、本市における導入の可否を含め、普及促進について検討する。	b	

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(127)私立幼稚園教材費の助成【こども企画課】					
保護者	私立幼稚園への教材費の助成を行うことにより、保護者の教育費負担の軽減を図る。	66,600	66,945	<p>[23年度の評価] 市内の全私立幼稚園92園に対し実施し、保護者の教育費負担の軽減を図ることができた。</p> <p>[24年度の実施計画] 継続して、全園を対象に実施する。</p>	b
(128)私立幼稚園就園奨励費の補助【こども企画課】					
保護者	保護者に対して、所得状況に応じた私立幼稚園就園奨励費を補助することにより、幼稚園への就園奨励及び保護者の経済的負担の軽減を図る。	1,482,883	1,506,681	<p>[23年度の評価] 市民税所得割課税額183,000円超を除く補助区分において、3,000円～4,200円の補助単価の増額を実施し、さらなる保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> <p>[24年度の実施計画] 市民税所得割課税額211,200円超を除く補助区分において、23年度よりさらに2,000円～3,000円の補助単価の増額を実施する。</p>	a